

対象年度		平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート										
事務事業名		運動指導員養成事業						予算事業名		運動普及推進事業費				
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	健康増進法					
				04	01	03	2401	経常経費	根拠法令					
総合計画体系		1ともに支えあい，安心して暮らせる社会福祉の充実(保健・福祉)						事業の区分		主要事業				
		1-1健康で安心して暮らせる保健福祉の充実（健康・医療）								重点事業				
		①健康づくりの推進						担当課係等		健康増進センター				
1健康づくり活動の推進						健康増進係								
事業期間		継続（平成 7年度～ 年度）												
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
市民が日常的に運動し心身の健康を維持できるよう，運動の指導及び普及活動をし，地域での推進活動が充するボランティアを育成，養成する。							健康日本2 1（第二次）において，市民の健康保持・増進及び生活習慣病予防のため，運動を普及し，地域における活動を展開していくことを目的として，運動普及推進員を平成7年度より養成開始となる。							
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】							
運動を通じた健康づくりを支援するため，運動普及推進員の養成及び運動普及推進員の地域活動を支援する。 ・運動普及推進員養成講習会開催 ・運動普及推進員研修会実施							20歳以上の市民 ・運動の指導及び普及啓発に協力できる市民 ・運動普及推進員							
							【事業をとりまく環境の変化】 市民の健康づくりを支援するため，結城市健康増進計画が策定された。							
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】						
・運動普及推進員研修会実施				・運動普及推進員養成講習会開催 ・運動普及推進員研修会実施				・運動普及推進員研修会実施						
■事業費														
				H29年度		H30年度								
財源内訳	国庫支出金			0		0								
	県支出金			0		0								
	地方債			0		0								
	その他			0		0								
	一般財源			91		333								
歳入計（千円）				91		333								
歳出内訳	節（番号＋名称）				金額（千円）		金額（千円）							
	08 報償費				73		0							
	11 需用費				18		10							
	12 役務費				0		5							
	13 委託料				0		318							
歳出計（千円）（A）				91		333								
伸び率（％）						265.93								
備考	総合計画49ページ 予算書101ページ													

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	養成講習会参加者数	人	目標	0.00	20.00	0.00
	運動普及推進員養成講習会参加者を増やす		実績	0.00	0.00	0.00
	運動普及推進員研修会参加者数	人	目標	250.00	270.00	280.00
	研修会にて運動普及推進員のスキルアップを目指す		実績	194.00	0.00	0.00
成果 指標	運動普及推進員数	人	目標	46.00	38.00	58.00
	運動普及推進員の人数が増えることで、地域への運動普及活動へつなげる		実績	38.00	0.00	0.00
	自主教室実施回数		目標	90.00	100.00	110.00
	運動普及推進員が自主的に教室を実施することで、地域での運動普及活動が充する		実績	70.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	健康を維持・増進するうえで、運動を推進することは重要であり、地区組織活動として運動普及推進員の需要は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	健康日本21にも地域における運動の推進としており、市民の健康づくりを支援する者の養成は必須である。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の手段が一般的であり、妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらも言えない	推進員の中でもボランティア意欲は異なり、また、休会者もいることから活動回数にはばらつきがある。
公平性	受益者の偏り	B どちらも言えない	教室やイベントには多くの参加者があるが、リピーターの参加者も多く、全ての市民に伝達することは困難である。
有効性	成果向上の余地	B どちらも言えない	推進員自身のスキルは向上しているが、平成28年度の養成講習会では、養成者が6名と少なく、さらに活動につながっている養成者は3名のみと少ない現状がある。
進捗度	事業の進捗	B どちらも言えない	運動普及推進員による運動教室は定着してきており、推進員自身のスキルも向上しているが、推進員数に関しては、退会者もあり減少してしまっている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
運動普及推進員の平均年齢が年々上昇しており、自身の健康問題を理由に退会する推進員も多い。若い世代への活動の普及や養成が課題となっている。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
現状通り、隔年で養成講習を実施する。若い世代への活動の普及、推進員の養成を行っていく。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 健康づくりのための運動を市民に普及していくために、運動普及推進員の養成を隔年において実施し、地区組織活動につなげていく。ボランティア活動希望者が減少するなか、新たな対象者を開拓し、事業を継続していけるよう図る。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。